

120607 「ササユリ」はまだ咲かず...

いよいよ山野の野草も、「春の花」から「夏の花」へと移り変わりつつあるようです。

「ササユリ」「ヤマユリ」「オニユリ」など、初夏を彩るユリの花が咲き誇る景色を求めて、山野に出かけた際にはキョロキョロ辺りを見回しているのですが...

写真 ~ : ユリのつぼみ

つぼみはたくさん見つかるのですが、まだ一輪も咲いている株を見つけることができないでいます...

不勉強ですので、開花しないと種類がわかりません...

写真 : シライトソウ

花の姿が白い糸のようですので、この名前が付けられたのですね。

見ていると涼しげな感じがしてきます。

写真 : オカタツナミソウ

「タツナミソウ」の名の由来は、花の姿を“立浪”に見立てたからでしょう。林縁の少し木陰になった草むらの中に咲いていました。

写真 : ウツギ

今が満開です。

たくさんのハチやアブたちが、吸蜜に訪れていました。

写真 : ベニウツギ

林道沿いで、深紅の花を咲かせていました。

写真 : ノアザミ

わが国ではアザミの仲間は60種以上もあると言われており、雑種もできやすいので分類は難しいようです。

でも...

ほとんどのアザミは秋に咲くのですが、この「ノアザミ」は今の時期に開花するので、間違えることはないですね。

しかも、花の首（総苞）に粘りけがあるのが特徴です。

これは、受粉に寄与しないアリが登ってくるのを防ぐ目的だそうです。

外来種の「アメリカオニアザミ」は7月頃から開花しますが、可愛げのない花なので区別は用意です。















